

今回の演習では、ファイルシステムとシェルの復習をしながら、高機能なテキストエディタである Mule の使い方を学習します。では、Linux へログオン！と言いたいところですが、今回は、Windows 2000 上で Vine Linux を動かす方法を習得するために、Windows 2000 へログオン！

1 . VMSwitch

VMSwitch は Windows 2000 にログオンした状態で Vine Linux を利用するためのソフトウェアです。詳しくは、利用の手引きを参照して下さい。

< 起動方法 >

- 1) 「スタート」 「プログラム」 「VMware」 「VMSwitch」を実行する。
- 2) 「隠れてる VMWare を見る」を選択し、「OK」をクリックする。

< 終了方法 >

- 1) 「スタート」 「プログラム」 「VMware」 「VMSwitch」を実行する。
- 2) 「見えてる VMWare を隠したい」を選択し、「OK」をクリックする。

2 . ファイルシステムと Shell 1 (TC シェル)

< これだけは覚えておけ！ >

コマンド使用例	機能
cd	ホームディレクトリへ移動する
cd DIR	作業ディレクトリを DIR に変更する (DIR へ移動する)
pwd	現在の作業ディレクトリを表示する
ls	ディレクトリの内容を表示する
ls -l	詳細表示
ls -a	ドットファイル (隠しファイル) 表示
ls DIR	ディレクトリ DIR の内容を表示する
cp FILE1 FILE2	ファイル FILE1 を FILE2 へコピーする
cp -r DIR1 DIR2	ディレクトリ DIR1 を DIR2 へコピーする
mv FILE1 FILE2	ファイル名 FILE1 を FILE2 へ変更する
mv FILE DIR	ファイル FILE をディレクトリ DIR へ移動する
rm FILE	ファイル FILE を削除する
mkdir DIR	ディレクトリ DIR を作成する
rmdir DIR	ディレクトリ DIR を削除する

3. テキストエディタ Mule

まずは、テキストの第5章をよく読んで、基本操作を頭に叩き込んで下さい。どうしても覚えておかなければならないコマンドは以下の通りです。

mule &	mule を起動する。
C-x C-f	ファイルを開く (作成する)
C-x C-d	ディレクトリを開く
C-x C-s	ファイルを保存する
C-x C-w	名前を付けてファイルを保存する
C-g	コマンドを中断する
C-x C-c	mule を終了する

これ以外にも多くのコマンドが用意されていて、文章を作成したり、プログラムを書いたりするのに非常に便利です。詳しくは、テキスト 78 頁以降を参照して下さい。なお、Windows 環境でも Mule やこれに似たソフトウェアを利用できます。プログラムを書く人や LaTeX を使う人には特にお薦めです。

[課題]

- 1) Mule を使って、日本語または英語で、自己紹介とこれまでの演習の感想を書く。
ただし、文章のはじめに、氏名と学生番号を必ず書くこと。
- 2) 作成した文章をファイルに保存する。
ただし、ファイル名には自分の名前を付けること。ファイル名の最後は ".txt" とする (例: kano.txt)
- 3) 保存したファイルを添付書類として、加納へ電子メールで送付する。
ただし、メールの本文にも、氏名と学生番号を必ず書くこと。題目 (subject) は「基礎情報処理演習」とする。メールアドレスは kano@cheme.kyoto-u.ac.jp です。

kano.txt の例

氏 名：加納 学 (かのう まなぶ) 学生番号：0123456789 自己紹介： 化学工学専攻の助教授です。専門はプロセス制御・データ解析です。 詳しくは、 http://www-pse.cheme.kyoto-u.ac.jp/~kano/ を見て下さい。 演習感想： 簡単すぎて話になりません。もっとハイレベルな演習をして下さい。
--